



ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳癌（乳房部分切除術＋腋窩郭清）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

聖路加国際病院（ ）病棟

| 経過 手術日・退院日など | 1日目 入院日 | 2日目 手術日 | 3日目 術後1日 | 4日目 術後2日 | 5日目 術後3日 | 6日目 術後4日目以降 |
|--------------------------|--|--|---|--|-------------|----------------|
| 治療 薬剤 (点滴・内服) | 必要に応じて、睡眠剤を服用していただくこともできます。 | <ul style="list-style-type: none"> 点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）：朝一番の手術は手術室で、それ以外は病室で行います。 抗生物質の投与 痛みに応じて痛み止めを使用します。（点滴、坐薬など） | <ul style="list-style-type: none"> 食事が取れたら、点滴留置針を抜きます。 毎食後、痛み止めを内服します。 | 必要時、痛み止めを内服します。 | | |
| 処置 | 手術する側の乳房にマジックでマーキングします。（エコーでマーキングする場合があります。） | <ul style="list-style-type: none"> 手術後、酸素投与を行います。時々深呼吸を行ってください。 創部にドレーンが入ります。毎日排液量を測定します。 | <ul style="list-style-type: none"> 酸素投与を中止します。 創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ドレーンは1日50ccを目安に抜きます。ドレーンの抜けた翌日に退院可能です。 | | | |
| 検査 | <input type="checkbox"/> 乳房の超音波 <input type="checkbox"/> () | | | | | |
| 安静度 | 制限はありません。 | 手術後は、ベッド上安静。身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。 ドレーンが入っている間は、腕や肩の積極的なリハビリはしません。（随時、説明いたします。） | | | |
| 食事 | 21時より絶食 深夜0時より絶飲食 | 絶飲食 口を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。 | 朝食から食事が始まります。制限はありません。 | | | |
| 清潔 | シャワー、洗髪を済ませておいて下さい。 | 術前に、手術用ガウン、下着に着替えます。弾性ストッキングを着用します。当日はガウンのまま過ごしていただけます。 | ドレーンが入っている場合は、上半身は清拭、下半身はシャワーが可能です。 | 創部は透明フィルムで保護されています。水を通さないため、ドレーンが抜けた翌日以降は全身のシャワーが可能です。 | | |
| 排泄 | 入院後、排泄回数を記録して下さい。 | <ul style="list-style-type: none"> 起床時より、尿量を計測し、記録してください。 麻酔がかかってから尿道カテーテルを入れます。 | 朝、尿道カテーテルを抜きます。 | 排泄回数を記録してください。 | | |
| 説明・ オリエンテーション | <ul style="list-style-type: none"> 病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 麻酔、手術中の流れについて麻酔科医、手術室看護師が説明に伺います。 手術、麻酔の同意書をお預かりします。 問診、検温、常用薬の確認等行います。 | 手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。退院後、初回来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。 ご希望に応じて、訪問リハビリの調整をします。（外来の場合もあります）ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。 | | | |

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。